

### I 第37週の発生動向 (2014/9/8~9/14)

- ヘルパンギーナについては、東地方+青森市管内で前週より**警報**が継続しています。また、上十三保健所管内で警報が解除されました。

### II 第37週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(90) インフルエンザ															0				
(79) RSウイルス感染症	1	0.1	2	0.2	1	0.1	1	0.2					5	0.1	1			1	0.1
(80) 咽頭結膜熱			1	0.1									1	0.0	1				
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.6	8	0.9	14	1.4	1	0.2	1	0.2	1	0.3	30	0.7	5			5	0.6
(82) 感染性胃腸炎	33	4.1	4	0.4	14	1.4			1	0.2	6	1.5	58	1.4	10			33	4.1
(83) 水痘	4	0.5			3	0.3	1	0.2			7	1.8	15	0.4	12			4	0.5
(84) 手足口病	5	0.6	6	0.7					1	0.2			12	0.3	-9			5	0.6
(85) 伝染性紅斑	1	0.1	1	0.1	12	1.2					8	1.3	22	0.5	7			1	0.1
(86) 突発性発しん	2	0.3	2	0.2	13	1.3					5	0.8	22	0.5	1			2	0.3
(87) 百日咳					1	0.1							2	0.1	2				
(88) ヘルパンギーナ	44	5.5	12	1.3	11	1.1	2	0.4			9	1.5	86	2.1	-20			44	5.5
(89) 流行性耳下腺炎	1	0.1			1	0.1							3	0.1	-4			1	0.1
(91) 急性出血性結膜炎															0				
(92) 流行性角結膜炎							1	1.0					1	0.1	0				
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															0				
(100) マイコプラズマ肺炎					2	2.0					1	1.0	3	0.5	2				
(101) 無菌性髄膜炎															0				
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0				

は警報、 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

### III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- 結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市1人、弘前3人、八戸5人、五所川原1人(2014年計:265人)
- 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 上十三1人(2014年計:15人)

### IV 病原体検出情報

- ※( )内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。  
 ・無菌性髄膜炎患者(ふん便、8/29)・・・ライノウイルス:青森市(1)

## 感染症の窓

### 結核(二類全数把握疾患)

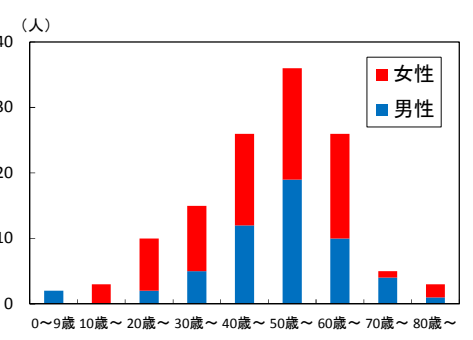
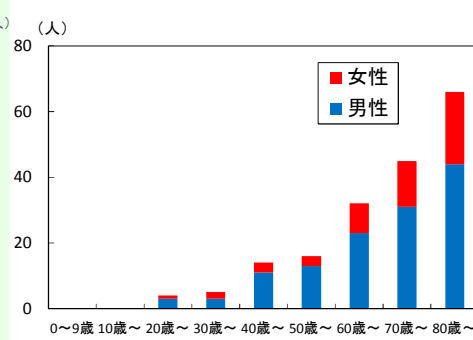
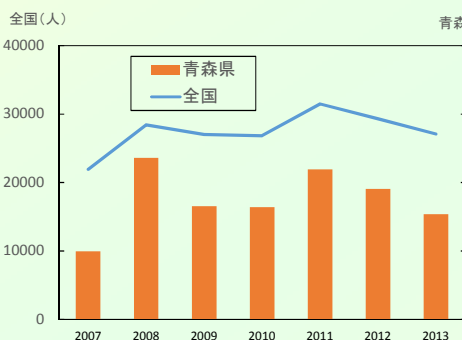
9月24日~30日  
結核予防週間

結核は、結核菌群による感染症で、感染は主に気道を介した飛沫核感染によります。患者の病型として最も多い肺結核の症状は咳、喀痰、微熱が典型的とされており、胸痛、呼吸困難、血痰、全身倦怠感、食欲不振等を伴うこともあります。初期には無症状のことも多いです。厚生労働省の感染症発生動向調査では、結核は、2007年第14週から全数把握疾患となりましたが、2007~2013年の国内の結核患者報告数は、20,000~30,000人で推移しており、全数把握疾患の中でも最多です。県内の2007~2013年の患者報告数は、2007年(第14~52週)は199人、2008~2013年は、約300~480人で推移しています(図1)。

2013年の患者の年齢別報告数は年齢と共に増加しています(図2)。また、無症状病原体保有者については、40~60歳代が多く占めていました(図3)。結核の感染は、保菌者と接することによるため、行動範囲の狭い低年齢層では少なく、20歳以上から次第に増加し、免疫力の低い高齢層では更に多くなるものと考えられます。

結核の潜伏期間は、数ヶ月~数十年と長く、また、症状としては長引く咳や微熱など風邪の初期に似ていることもあり、感染したことに気付かず、感染が職場や学校、家庭などに広がる場合もあります。

咳や微熱が長く続く、倦怠感が続く場合などは早めに医療機関を受診しましょう。



V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第21週～第37週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	侵襲性肺炎球菌感染症1人		梅毒1人			
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	つつが虫病1人	後天性免疫不全症候群1人	破傷風1人			
23	H26.6.2 ~ H26.6.8		侵襲性肺炎球菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	つつが虫病1人		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	つつが虫病1人		E型肝炎1人 つつが虫病2人			
25	H26.6.16 ~ H26.6.22			アメーバ赤痢1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		つつが虫病1人	
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	つつが虫病1人					
27	H26.6.30 ~ H26.7.6		侵襲性インフルエンザ菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人		
28	H26.7.7 ~ H26.7.13			腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	A型肝炎1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人	E型肝炎1人				
30	H26.7.21 ~ H26.7.27						
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症2人	
32	H26.8.4 ~ H26.8.10	レジオネラ症1人					
33	H26.8.11 ~ H26.8.17	腸管出血性大腸菌感染症4人					
34	H26.8.18 ~ H26.8.24			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人	
35	H26.8.25 ~ H26.8.31						
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	デング熱1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14					腸管出血性大腸菌感染症1人	

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第27週～第37週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
27	H26.6.30 ~ H26.7.6	2		2	1	1	
28	H26.7.7 ~ H26.7.13	2		5			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	1	1	4	1	1	1
30	H26.7.21 ~ H26.7.27	2	2	3	1		1
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	3	1	7			
32	H26.8.4 ~ H26.8.10		5	4	1		
33	H26.8.11 ~ H26.8.17		1	4		2	
34	H26.8.18 ~ H26.8.24	2	2	6	1		
35	H26.8.25 ~ H26.8.31	1	2	12	1	1	
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	1	5	3		1	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14	1	3	5	1		

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第35週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクンゲーア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	
累積報告数	17111	3	68	2958	24	12	100	392	14	7	1	1	1	44	8	112	134	108	9	1	37	8	
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	レジオネラ症	レブスピアラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	パノマイコン耐性肺炎球菌感染症	風しん	麻しん				
累積報告数	784	13	743	167	324	82	119	181	999	41	132	25	1228	8	1091	87	34	268	436				

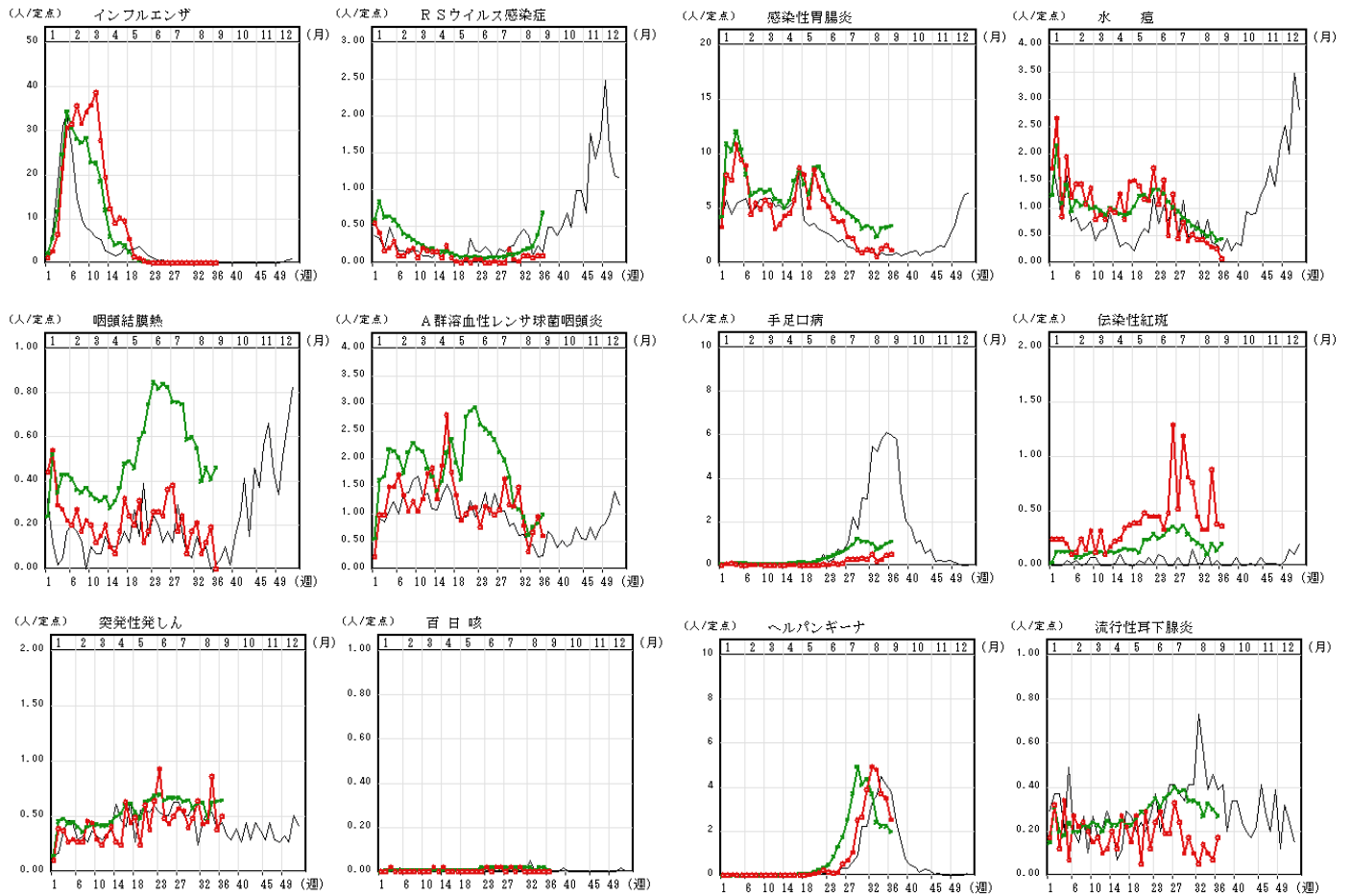
青森県

(2014年第1週～9月16日16:30累計)

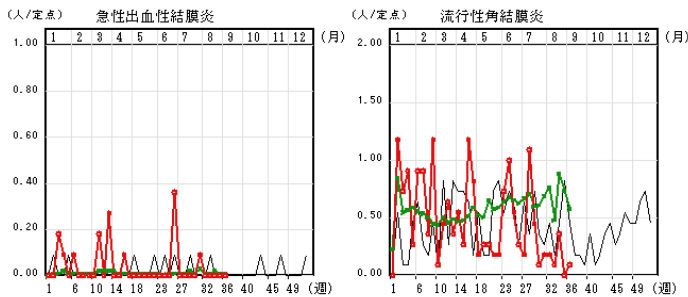
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	
累積報告数	265	15	2	2	10	1	3	6	8	1	1	3	1	6	4	1	

## VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第36週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



## IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第36週)



## X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第36週)

